しっぽりゴシック

◉合成フォントサンプル

しっぽり_筑紫ゴシックE

あたかも信号所の小屋の前に立っていた。この土地の勝手を知っていれば、この声のきこえた方角を聞き誤まりそうにも思えないのであるが、彼は自分の頭のすぐ上の嶮しい断崖の上に立っている私を見あげもせずに、あたりを見まわして更に線路の上を見おろしていた。

わたしが
こう呼んだ声を
聞いたとき、
信号手は短い棒に
巻いた旗を
持ったままで、

しっぽり_筑紫アンティークゴシック（かな95%）

あたかも信号所の小屋の前に立っていた。この土地の勝手を知っていれば、この声のきこえた方角を聞き誤まりそうにも思えないのであるが、彼は自分の頭のすぐ上の嶮しい断崖の上に立っている私を見あげもせずに、あたりを見まわして更に線路の上を見おろしていた。

わたしが
こう呼んだ声を
聞いたとき、
信号手は短い棒に
巻いた旗を
持ったままで、

しっぽり_見出しゴMB1（かな95%）

あたかも信号所の小屋の前に立っていた。この土地の勝手を知っていれば、この声のきこえた方角を聞き誤まりそうにも思えないのであるが、彼は自分の頭のすぐ上の嶮しい断崖の上に立っている私を見あげもせずに、あたりを見まわして更に線路の上を見おろしていた。

わたしが
こう呼んだ声を
聞いたとき、
信号手は短い棒に
巻いた旗を
持ったままで、

しっぽり_たづがねゴシックBold

あたかも信号所の小屋の前に立っていた。この土地の勝手を知っていれば、この声のきこえた方角を聞き誤まりそうにも思えないのであるが、彼は自分の頭のすぐ上の嶮しい断崖の上に立っている私を見あげもせずに、あたりを見まわして更に線路の上を見おろしていた。

わたしが
こう呼んだ声を
聞いたとき、
信号手は短い棒に
巻いた旗を
持ったままで、

しっぽり_ゴシックMB101DB

あたかも信号所の小屋の前に立っていた。この土地の勝手を知っていれば、この声のきこえた方角を聞き誤まりそうにも思えないのであるが、彼は自分の頭のすぐ上の嶮しい断崖の上に立っている私を見あげもせずに、あたりを見まわして更に線路の上を見おろしていた。

わたしが
こう呼んだ声を
聞いたとき、
信号手は短い棒に
巻いた旗を
持ったままで、

しっぽり_見出しゴMB31

あたかも信号所の小屋の前に立っていた。この土地の勝手を知っていれば、この声のきこえた方角を聞き誤まりそうにも思えないのであるが、彼は自分の頭のすぐ上の嶮しい断崖の上に立っている私を見あげもせずに、あたりを見まわして更に線路の上を見おろしていた。

わたしが
こう呼んだ声を
聞いたとき、
信号手は短い棒に
巻いた旗を
持ったままで、

しっぽり_A1ゴシックM（かな97%）

あたかも信号所の小屋の前に立っていた。この土地の勝手を知っていれば、この声のきこえた方角を聞き誤まりそうにも思えないのであるが、彼は自分の頭のすぐ上の嶮しい断崖の上に立っている私を見あげもせずに、あたりを見まわして更に線路の上を見おろしていた。

わたしが
こう呼んだ声を
聞いたとき、
信号手は短い棒に
巻いた旗を
持ったままで、

しっぽり_筑紫オールドゴシック（かな90%）

あたかも信号所の小屋の前に立っていた。この土地の勝手を知っていれば、この声のきこえた方角を聞き誤まりそうにも思えないのであるが、彼は自分の頭のすぐ上の嶮しい断崖の上に立っている私を見あげもせずに、あたりを見まわして更に線路の上を見おろしていた。

わたしが
こう呼んだ声を
聞いたとき、
信号手は短い棒に
巻いた旗を
持ったままで、

しっぽり_ヒラギノW6（かな95%）

あたかも信号所の小屋の前に立っていた。この土地の勝手を知っていれば、この声のきこえた方角を聞き誤まりそうにも思えないのであるが、彼は自分の頭のすぐ上の嶮しい断崖の上に立っている私を見あげもせずに、あたりを見まわして更に線路の上を見おろしていた。

わたしが
こう呼んだ声を
聞いたとき、
信号手は短い棒に
巻いた旗を
持ったままで、

◉異体字

いいおおききささししそそたた
ととののふふむむりりゆゆをを